

# 2012年度 要望書資料

大阪府立大学中百舌鳥・りんくうキャンパス学生自治会

# 目次

## I. 学費に関すること

資料1 学費に関する資料

資料2 授業料減免制度に関する資料

## II. 講義・履修に関すること

資料3 CAP制に関する資料

資料4 成績開示に関する資料

## III. 施設・設備・構内整備に関すること

資料5 図書館に関する資料

資料6 障がい学生支援センターへの経路に関する資料

## IV. りんくうキャンパスに関すること

資料7 りんくうキャンパスの駐輪場に関する資料

## I. 学費に関すること

### 資料1 学費に関する資料

#### ・主な公立大学の学費

大学	入学金(円)	年間授業料(円)
大阪府立大学(府内)	282,000	535,800
大阪府立大学(府外)	382,000	535,800
首都大学東京(都内)	141,000	520,800
首都大学東京(都外)	282,000	520,800
大阪市立大学(市内)	222,000	535,800
大阪市立大学(市外)	342,000	535,800
兵庫県立大学(県内)	282,000	535,800
兵庫県立大学(県外)	423,000	535,800
京都府立大学(府内)	169,200	535,800
京都府立大学(府外)	282,000	535,800

各大学、文部科学省が平成24年12月現在公開しているものから作成

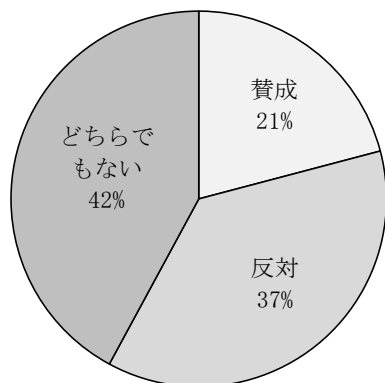
平成24年12月現在の時点では表中の公立大学(本学獣医は除く)では設備負担金は導入されていないが、東京大学や京都大学等では導入されている。

現在、文部科学省によって定められている国公立大学の授業料標準額は53万5800円で、各公立大学法人はこの標準額を踏まえつつ各々一定の範囲内で授業料を定めることができる。設備充実負担金などは、各公立大学法人が自由に定めることができる。

本学は府内在住の学生のみ、入学金・授業料ともに文部科学省の定める標準額と同額に設定している。

・負担金の導入についてアンケート結果

質問内容：学費の増額に対して負担金の導入(獣医はすでに実施)を仮定して回答。  
 回答形式：「賛成・反対・どちらでもない」の3択より選択。自由記述あり。

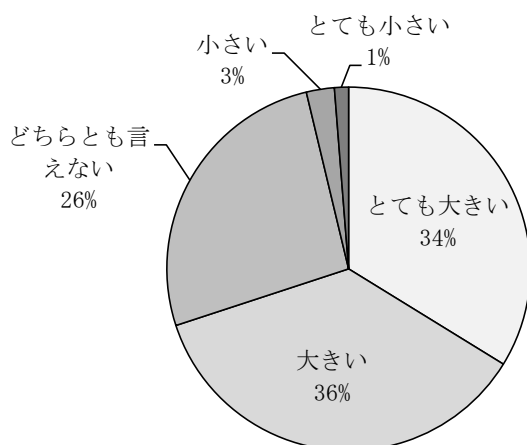


アンケート総数	962
賛成	201
反対	356
どちらでもない (無回答含む)	405

「反対」および「どちらでもない」が全体に占める割合は4分の3以上である。

・学費増額による影響についてのアンケート結果

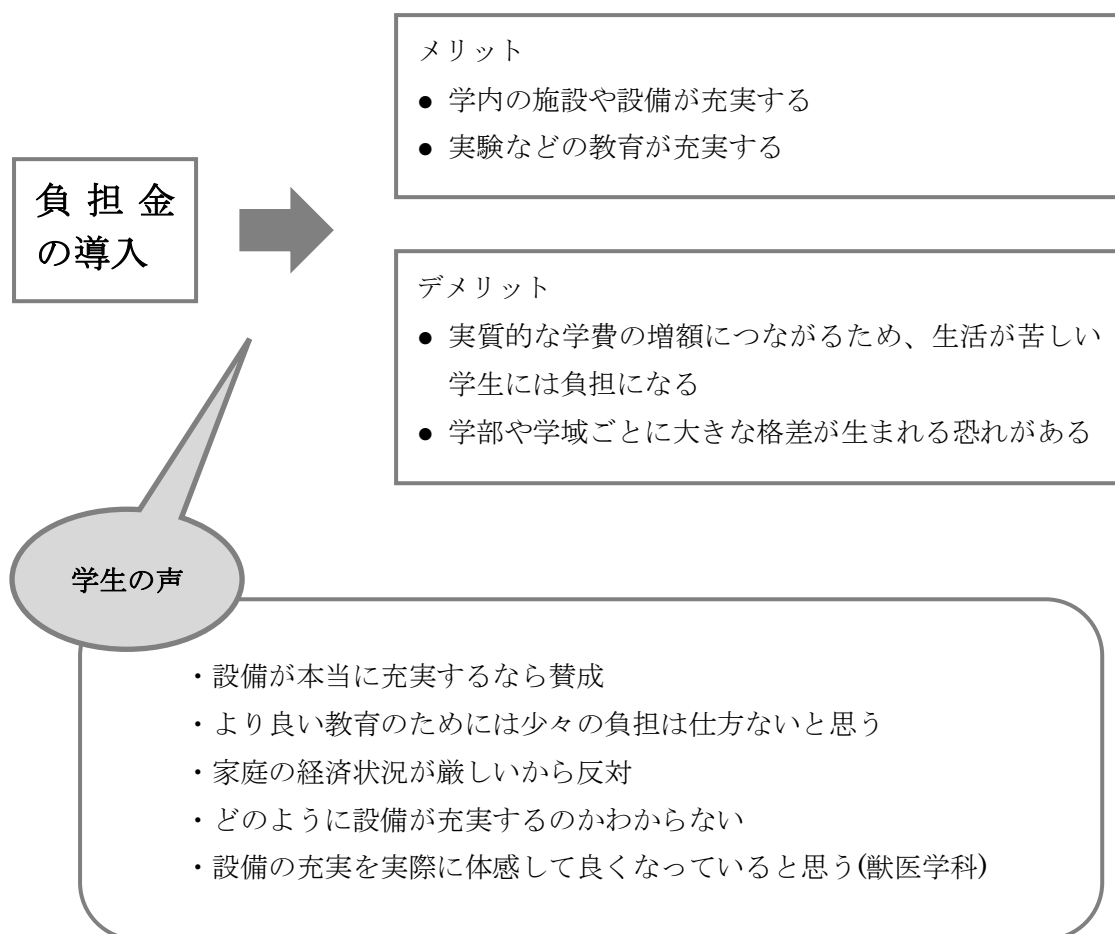
質問内容：学費の増額が家庭へ与える影響の大きさを回答。  
 回答形式：「とても大きい・大きい・どちらとも言えない・小さい・とても小さい」の5択より選択。



アンケート総数	962
とても大きい	325
大きい	348
どちらとも言えない (無回答含む)	253
小さい	24
とても小さい	12

学費の増額が家計に与える影響は、多くの学生にとって大きいものであることが分かる。

・負担金の導入に関する概略図



・負担金の導入による学費の増額に関する意見

○「賛成」意見

設備に経費がかかるところは徴収すればよいと思う。ただ、入学の際の募集要項等には授業料と共に明示する必要があると思う。	獣医の場合入学する前から負担金というものがあると分かっているので問題ない。
より良い教育のためには少々の負担は仕方ないと思う。	教育に必要なお金だから。
各学部によって必要な機材が異なり、その購入費用も違ってくるので、導入は仕方ないことだと思う。	設備がないために、りんくうキャンパスにまで行って実験をしないといけないことがあるから
よりよい環境で研究に打ち込みたい	設備が充実するなら良いと思う
教育が充実するなら賛成。内訳が開示されていればなおよし	学業に良い影響を与えるならば意味があると思います。
進んだ設備を使うのにお金が必要なのはしかたないと思うから。	設備の充実を実際に体感して良くなっていると思うので。
設備をよくするのは教育上とても良いことだと思います。(但し無駄な設備を除く)	設備をもっと充実させる必要があるから。ただし、その分、減免などのサポートを手厚くしてほしい。
研究機関である大学において、設備の充実が最優先課題	教育設備に使う分にはいいと思う
研究費が足りなくて、研究できないのは悲しいことです。もし、その負担金で設備が整えば、より高度な研究をできると思うから。しかし、そのお金が悪用されるなら、困る。	負担金を払っているから、全員にパソコンや解剖器具などを配布してもらえるため。普通なら個人の負担になるところを学費と一緒に払えるのは良い制度だと思う。
大学は専門的に学問をする場、設備が充実することは学力向上に深く関係すると思う	国立大学並みの設備投資が実現しやすくなると思うから
高度な研究を行い大学としての水準を上げるべきだと思うので。	校舎きたない・机きたないのが改善されるなら良いです
大学には多人数の学生、教職員が在籍しており、その多人数の需要を満たすためにある程度の(最新の)整備は必要。	大学生活で私たちが使うものなら、私たちが負担するのは順当だと思います。関係なかったら払いません。
施設を使用するのだから仕方ないと思う。しかしもう少し減額してほしい。自分で学費を出している人には大変だと思う。	負担金の導入による設備の充実により、より高度な技術を利用することができ、研究等に良い影響を与えると考えるため。
実際に負担した分が還元されていると実感できるのであれば	設備充実のためなので仕方がない
実験器具・設備の充実に必要な有意義な実習をおこないたいから。	実験で多くの費用が必要なのは当然だと思う(動物実験など)
ただし、実際には金銭的にとても苦しいです。府大の設備には満足していますが、正直もっと削ってほしい。大学に通えなくなるかもしれず、とても怖いです。	理系学部は設備運営等で文系を上まわる出費をしているので、理系学生の負担金文系学生と同じなのは納得できない。理系は負担金を増やすべき

○「どちらでもない」の意見

<p>今のところ設備に関して不満に思ったことはないが、不十分であるところがあるなら導入しても良いと思う。</p>	<p>どのように設備が充実するのか具体例がわからないので</p>
<p>学科、研究室には必要費用はかわってくるだろうが、キャンパスの設備費には全員等しいので配分とか比重を考える必要がある。</p>	<p>なんとも言えません。ウチらは払っていないから。実習は充実していいと思うけれど、本当に還元されてるのか?特に研究室に入ってから払わなくていいと思う。</p>
<p>獣医学科の学生は、私がみる限りですが、裕福な家庭の人が多くに思います。学費+実習費を支払っていても、学生本人に強い影響はないように思います。ただ、生活が苦しい、という学生中にはいるので、成績上位者に対し、減免等の制度が増えるとうれしいです。</p>	<p>必要な設備についてわからないので、どちらとも言えない。ただし、学部単位での徴収にしてほしいとは思っている。(工学部からの徴収金が生環の生物でしか使われる、などは気分的に嫌)です)</p>
<p>給付型の奨学金の充実が実現するのであれば、負担金の導入も仕方ないかもしれません</p>	<p>負担金の具体的な用途を知らない、どう役立つのかかわからないので答えられない。</p>
<p>最終学年やからということもあり、要望ということではないのですが、全員への ipad 支給などが必要なのか、キャンパスの設備で不必要な所がないのか、削れるところがある気が…</p>	<p>負担金は仕方のないことだと思うが、何に使われているのかかわからないことがとても多く、必要最低限以上の負担をかけられているように思うので改善してほしい。</p>
<p>実際の負担がどこまで影響するのか分からないから。</p>	<p>負担金を導入することで良いこともあるだろうけれど、負担が苦しい人もいると思うから。</p>
<p>実習が充実することは良いことですが、実習充実負担金が全て実習内容を良いものにするために使われているとは思えません。</p>	<p>負担金を導入するなら何に使うかをあらかじめあきらかにしておいてほしい</p>
<p>獣医学類ではないので負担金の恩恵はわからないが、全ての学生の教育が目に見えて充実するなら負担金はやむを得ない。しかし、年間 20 万円弱は高額な気がする。</p>	<p>負担する分できちんとしたメーカーの機具等を購入してもらえたら良いと思います。</p>
<p>キャンパスの改築などにお金がかかるなら仕方ないと思う。</p>	<p>減らせるなら減らして欲しいですが、実験・実習のレベルが下がるのは困るので. . .</p>
<p>正味な話、我が学科の設備は充実しているとは言えない。他学部・学科のことは知らないが、導入することによって、きちんとした形で研究が進むのであれば、それもいいと思う。ただ、それを「大学」でやるべきかどうかはギモン。「大学院」での導入って検討されてたっけ?</p>	<p>より良い教育を受けるために必要な金額ではあるが、実際にはどのように使われているか分からず、また、実習と勉強の関係によりバイトをして授業料を払っていくことが大変なため、かなりの負担を感じています。またパソコンを当初 4 回の後期から 1 年 1 万で貸し出すと言っていたのに、完全に返却となり困っています。現 4 回生が返却にもかかわらず、下の学年では iPad が支給されるという違いにも納得できません。</p>
<p>少しぐらいならいいが、あまり高い値段になると反対である。</p>	<p>私たちの学年までは負担金というものがなかったので何とも言えませんが、こまごまと徴収する手間は省いて良いのでは、と思います。</p>
<p>設備が良くなるとどう変化するのかわからない どこにそのお金をまわすのか、具体的な計画が必要である。負担金の導入には基本的に賛成だが、計画がない段階で、お金だけを徴収するのには賛成できない</p>	<p>私にはあまり関係が無く、関心も薄いから。 負担金が、きちんと設備の充分のために使われるかわからない。何にお金が使われたか公開されるなら賛成。</p>

○「反対」の意見

家庭の経済状況が厳しいから	国立大学への進学理由の1つとして学費が安いことがあるから
学校設備に対して学生が負担するのはいいのか？負担するにしても、学校設備の負担を一部の生徒が負担するのはよくない。	国公立大学は私立大学と異なって、その費用が公的な機関から支払われるようになっているはずであるのに、学生から集金するのは違っていると思うから。
18万円は大きい。185,000円÷12か月＝15,400円ぐらいは私の1ヶ月の食費以上です。	これ以上負担が大きくなるのは厳しいです。設備等は、大阪府から支援して頂きたい。
どこに使われるかや正しく使われているのか明確にわからないから。どちらかといえば減らしてほしい。	実験をほとんど行わない学科もあり、一律導入は不公平である。また、設備の充実と景観の美しさは別物であり、学生生活を充実させてくれるとは思わない。
今でも満足。どこに使われるか分からんし・・・	受験料が高いから上げなくていい。
今の学費を払うだけでも生活は圧迫されている。増額には断固反対です。	奨学金にも制限があり、アルバイトで稼ぐにも学費だけでも負担は大きい。その上に追加されるのは反対。
今の設備でそんなに不満があるわけでもない。金銭的に学費を上げられるとキツイ。	学部によって負担金を変えるなら賛成
今のところ実験もしたことないし、施設や道具の不便さは感じないし、お金を多く払っても具体的な見返りを提示されない限り多く学費を払う意味をみだせないため	増額分がどのようにしようされるかが明確でない。 国立大学で可能なのだから、本学も同額でやりくりすべき。
お金の負担を減らすために公立大学に来ているのに負担が増えては意味がないから。	それに見合う利益が得れていない。5回生から実習が減るが、実習充実費も減るのか？
学費を抑えるために行っているのに、徴収されたら意味がない。徴収したところで、教育が改善されるか疑問	学部によって使用する設備に大きな違いがあるから。学費が高い。文系だけでみると私立とあまりかわらない
先端バイオ等を使っている学科は負担金を払っていないのにただりんくうにあるというだけで18万5000円の負担は大きい	府大に入学する学生の何割が負担金を支払ってまで質の高い教育を受けようと思っているのか疑問に思うから。つまり、学生のニーズに合っていないのでは
今でもギリギリなのにそんなの払えるわけがない	負担金が高いのは嫌だが、それがなくなって実習の質が落ちるのは嫌だ。
きちんとしたお金の使い方ができないのに、無駄に使うためのお金はない。130周年がどうのこのよりも健全な大学運営をして欲しい	負担金が増えると生活が苦しくなるから
現在の大学生活で不自由していることがないのに、約20万円の負担が増えるのは、家庭的に非常に厳しいため	負担金と言う名目で学費が増額されれば、府大の魅力がなくなることになってしまう。
具体的な使用目的も決まらないままむやみに増やす必要はない	経済学部は負担金を導入しても恩恵がないから
寮が廃止されているので下宿費用が高い。それだけでも親の家計を圧迫しているのに、それにさらに負担金が増えると余計苦しくなる。	文系なので、特に新たな設備は必要ないと思う。ただ、学外での学習に対する支援が充実したらよいかも知れない。
現在の授業料を維持したまま設備の向上をしてください	キャンパス整備費も含めて学費として徴収されているのではないのですか？



## 資料 2 授業料減免制度に関する資料

### ・ 本学の授業料減免制度

#### 成績基準

学域生：前期は入試成績、後期は前期の成績を基に学類で上位 1/3 以上

学部生：前期は前年度までの累積成績、後期は当年度前期までの累積成績を基に学科で上位 1/3 以上

※ただし、入学年度の前期は入試成績、後期は前期の研究活動を含めた総合評価

#### 所得基準

免除：世帯の所得認定額 ≤ 最低生活費

減額：世帯の所得認定額 ≤ 最低生活費 × 1.3

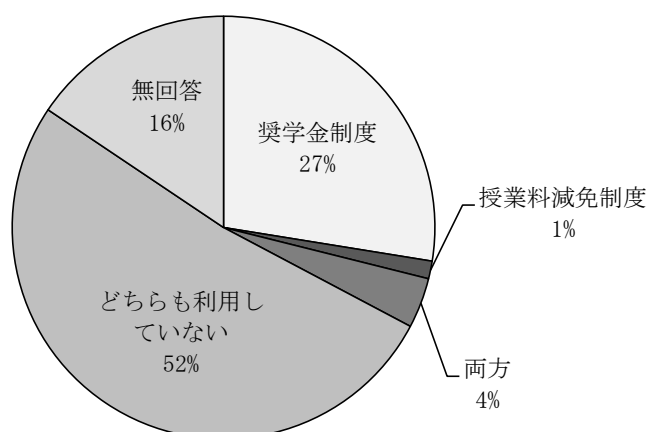
却下：世帯の所得認定額 > 最低生活費 × 1.3

本学ホームページより引用

### ・ 制度に関するアンケート結果

質問内容：奨学金制度または授業料減免制度を利用しているか回答。

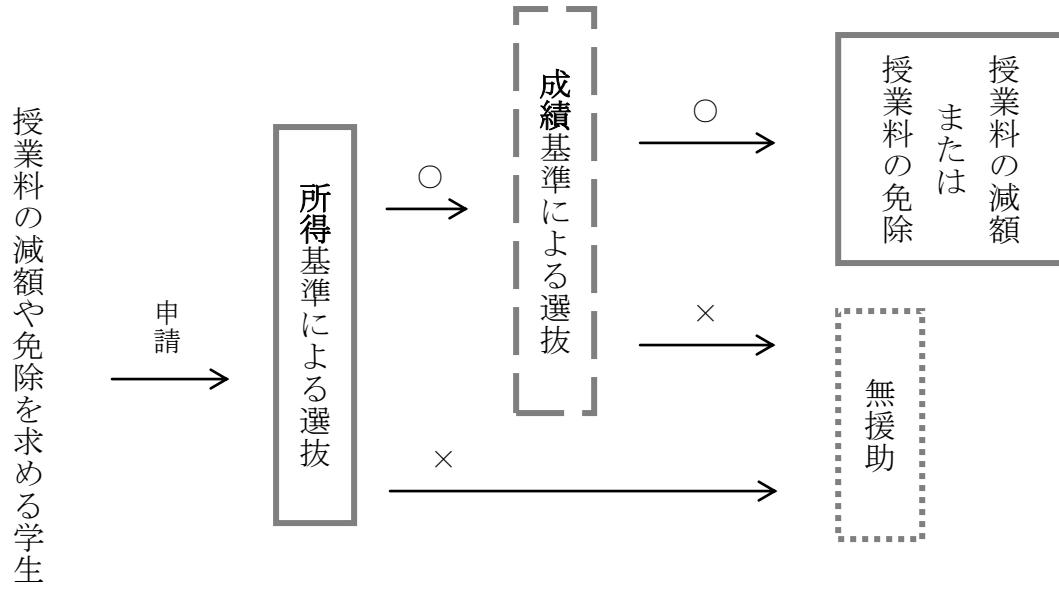
回答形式：「奨学金制度・授業料減免制度・両方・どちらも利用していない」の4択より選択。自由記述あり。



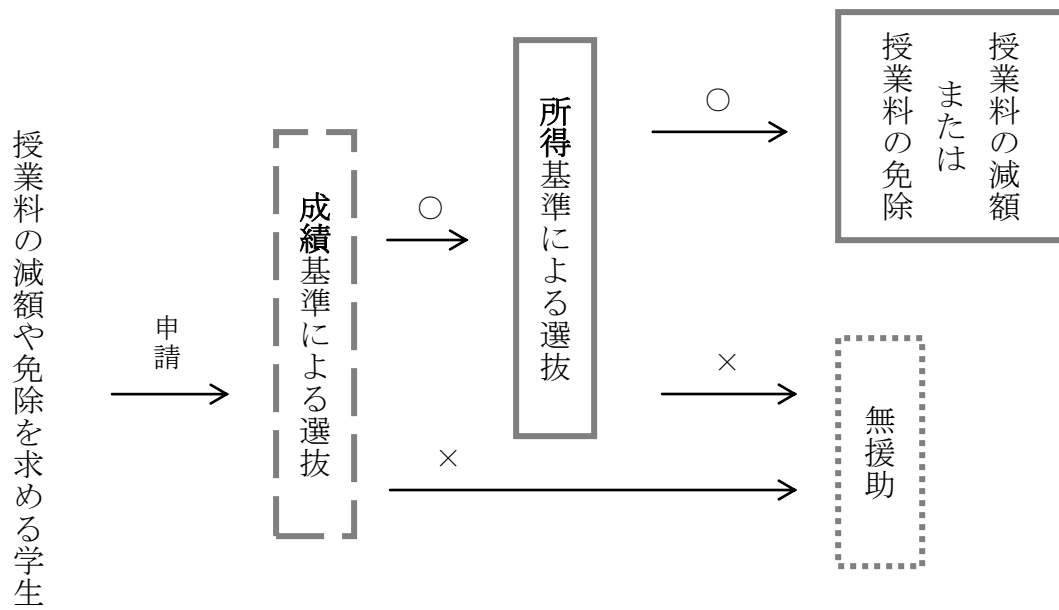
アンケート総数	962
奨学金制度	265
授業料減免制度	13
両方	37
どちらも利用していない	497
無回答	150

アンケートの結果から、約4分の1の学生が奨学金を利用しているが、授業料減免制度を利用している学生は約20分の1程度でしかない。

・文科省が国立大学に定める減免制度のモデル(文部科学省ホームページより作成)



・本学の減免制度のモデル(本学ホームページから作成)



・ 制度に関する意見

○奨学金制度

奨学金の額を増やしてほしい。	第一種の枠を増やして欲しい
留学生向けのシステムがほしい	誰でも奨学金を受けられるようにしてほしい。
私は家庭が非常に貧しく各種奨学金、授業料減免両方を得ているが、返還不要の奨学金制度を大学でも設立して欲しい。	教授の推薦文が必要な奨学金があったが、1回生には、教授に推薦文をお願いするのは難しい（教授あまり親しくないので、教授も書けない）
無利子の一種の人数を増やして欲しい	返さなくてよい奨学金をもっと導入してほしい。
10万円以上でも無利子の返金制度を条件つきで設けてもらいたい。	本学で奨学金制度を設ける話が中期計画にあったと思うが、それはどうなったのか。
奨学金は奨学金という名の借金になっている現状を打破してほしい	府大の奨学金制度は現在の国立大学と比べて遅れている。付与のものがあってもいいと思う。
奨学金は利子をとってはならないと思う。あとが苦しくなる。	民間のものにも複数応募可能にしてほしい。
奨学金制度に利子は辛いです。	無利子の枠を増やしてほしい
少し条件が厳しくなっても良いので、第一種で借りれる金額を増やして欲しいです。	利子が厳しいため返還が苦しいと思う。無利子のものをもっと充実させるべき。
大学に入ってから奨学金に応募したら第一種がとりやすくなるという話を聞きました。もし本当ならそういうことはきちんと公表してください。	そういえば、府大独自の奨学金制度をつくるという話が中期計画にありましたが、それについては今はどの程度まで計画が進んでいるのでしょうか？

○授業料減免制度

これからもこれらの制度については行って行くべく位だと思う。家族構成などから負担が大きくなる家計もあると思うし、そういう人々に対しては有意義に学んでいくことができるようになると思う。	授業料免額の審査を所得審査→成績審査の順にしてほしいです。どうせ成績審査ではじかれるなら、本当に授業料が負担になっている人を集めてから審査して下さい。自分の頑張りが足りないというものもあるかもしれませんが、全学域全学年から選ばれるには人数が少なすぎると思います。もう少し定員を増やしてもらえないでしょうか。
お金がなくて学べないという人のために存在すべき。	基準が厳しいと聞くので、本当に必要な学生がちゃんと利用できるよくなるよといと思います
いつもお世話になっていますが、基準（所得、成績の両方）がもう少し緩和されればいいのに、とも思います。今はとにかく成績をとるための勉強になってしまっている。	授業料減免制度に関して採用される人が限られすぎる。本当に困っていてもこの制度が受けられないのはおかしい
学部・学科によって基準の厳しさに差が大きいと聞く。実際にどうなのか知らないが、大学にはしっかりと実情を把握してほしい。	授業料減免制度の基準が親の収入によって決められているので、学生個人の勉強の意欲が減少する。
手続きに必要な書類が多くて煩雑です。何度も不備で再提出となってしまいました。必要事項を明確にお伝えください。	制度は、私の様な成績が少しマシなだけの人に子使い嫁ぎをさせていることが多いので、成績より、収入をより重視して生徒を選ぶべきだ。
成績では減免の免除の方に通ったのに、その後は何故か半額免除もなく落とされた。理不尽だと感じた。理由をちゃんと説明すべき	成績優秀者は無条件で授業料減額制度を導入すべき
減免制度をもっと利用できるように受け入れ枠を大きくしてほしい。	大学院に進学するのにかかる費用が心配なので授業料減免の基準を下げて欲しい。
受付時間をもっと長く申し込み易くしてほしい	大学院に進学するのにかかる費用が心配なので授業料減免の基準を下げて欲しい。

## II. 講義・履修に関すること

### 資料3 CAP制に関する資料

#### ・本学の履修規程(一部抜粋)

##### 第7条(履修科目の受講申請の上限)

学生が、1年間に履修科目として受講申請することができる単位数は、自由科目を除き、年間50単位までとする。ただし、1年次においては、前期24単位、後期26単位までとし、2年次以降の前期及び後期の単位数については、履修要項において定める。

- 2 前項の規定に関わらず、教育課程の編成上やむを得ない場合に限り、2年次以降の特定の学年において、年間50単位を超えて上限を定めることができる。
- 3 所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前2項に規定する単位数の上限を超えて履修科目の受講申請を認めることができる。

(平成23年規程第87号・一部改正)

##### 第9条(単位算定基準)

授業科目の単位の算定は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次に掲げる基準により単位数を計算するものとする。ただし、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して学域規程の定めるところにより、単位を算定することができる。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して1単位とする。

(平成23年規程第87号・旧第8条繰下・一部改正)

本学ホームページから引用

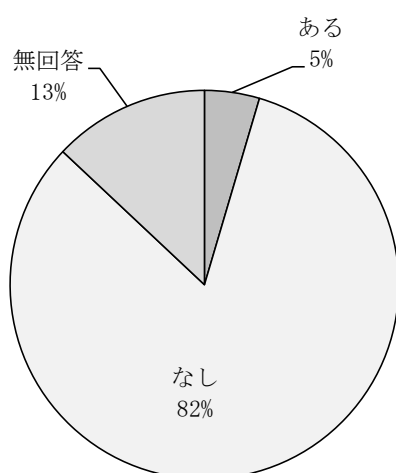
・CAP制を導入する大学

大学	内容
金沢工業大学	半期に履修できる単位数を 24 単位、年間 48 単位を上限とする。
埼玉大学	半期に履修できる単位数を 24 単位とする。 登録単位中 22 単位以上を取得し、かつ学期 GPA が 3.5 以上の場合は、次の学期では 28 単位を上限とする。
一橋大学	1 年間 50 単位。
横浜国立大学 (教育人間科学部)	半期に履修できる単位数を 24 単位とする。
北海道教育大学	半期に履修できる単位数を 26 単位とする。 直前の学期の GPA が 3.0 以上の者は 30 単位、GPA が 2.5 以上 3.0 未満の者は 28 単位、GPA が 1.5 以上 2.5 未満の者は 26 単位、GPA が 1.5 未満の者は 24 単位とする。

各大学ホームページから作成

・履修科目に関するアンケート結果

質問内容：CAP上限にかかる等の理由によって履修できなかった科目があったか回答。  
回答形式：「ある・ない」の2択より選択。



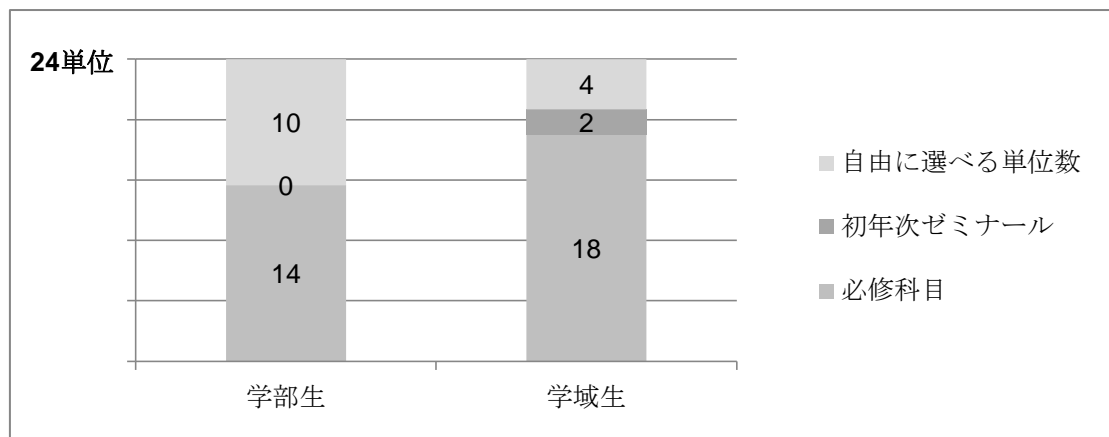
アンケート総数	962
ある	44
ない	793
無回答	125

ほとんどの学生は問題なく必要な履修することができたが、一部の学生はCAP上限を超える、科目が開講されないなどの理由により、履修できない科目があった。

・学部生と学域生の初年次前期における履修計画の比較

例 1

工学部応用化学科 (2011 年度) と工学域物質化学系学類応用化学課程 (2012 年度)



○工学部応用化学科 (2011 年度) のCAP制対象の必修科目

英語 A I (2)

線形数学 I (2)

英語 B I (2)

物理学 I (2)

微積分学 I (4)

化学 I (2)

○工学域物質化学系学類応用化学課程 (2012 年度) のCAP制対象の必修科目

Academic English I A (2)

微積分学 I (4)

Academic English I B (2)

線形数学 I (2)

情報基礎 (2)

化学 A (2)

初年次ゼミナール (2)

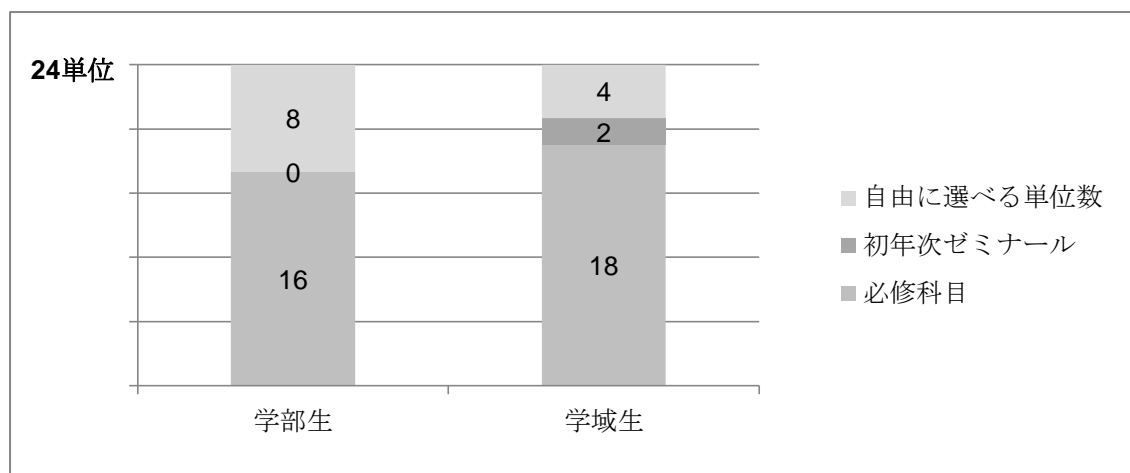
化学実験 (2)

物質化学系学類概論 (2)

応用化学過程の学生は応用化学科の学生よりも、自由に選択することができる単位数が6単位少ない。

例 2

理学部物理科学科 (2011 年度) と生命環境科学域自然科学類物理科学課程 (2012 年度)



○理学部物理科学科 (2011 年度) のCAP対象の必修科目

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 英語 A I (2)  | 物理学 I (2)    |
| 英語 B I (2)  | 化学 I (2)     |
| 解析学基礎 I (2) | 生物学 I (2)    |
| 線形代数 I (2)  | 宇宙地球科学 I (2) |

○生命環境科学域自然科学類物理科学課程 (2012 年度) のCAP対象の必修科目

- |                         |            |
|-------------------------|------------|
| Academic English IA (2) | 線形代数 I (2) |
| Academic English IB (2) | 物理学 I (2)  |
| 情報基礎 (2)                | 化学 I (2)   |
| 初年次ゼミナール (2)            | 生物学 I (2)  |
| 解析学基礎 I (2)             | 物理学実験 (2)  |

物理科学課程の学生は物理科学科の学生よりも、自由に選択することができる単位数が 4 単位少ない。

・CAP制に関する意見

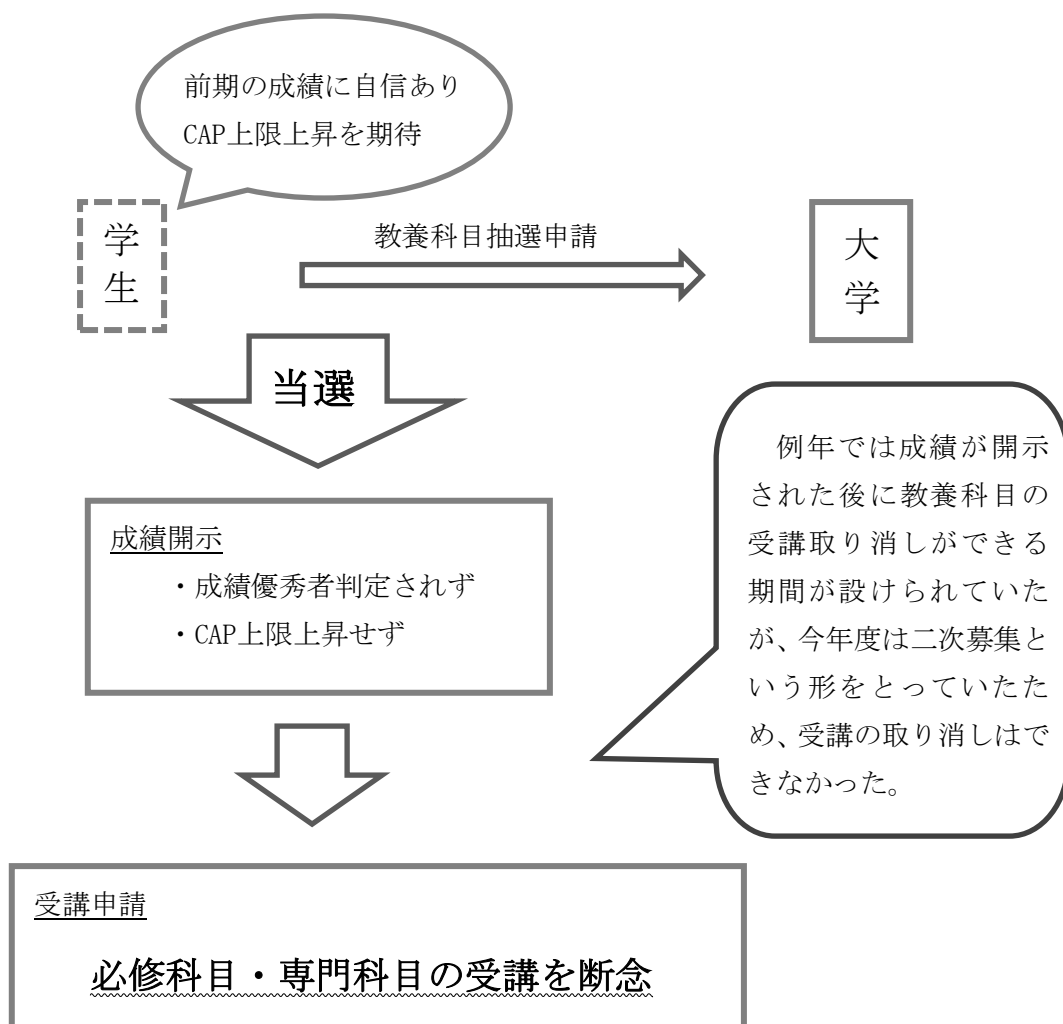
1, 2 年次に取っておくべき科目に CAP 対象科目が多すぎる。専門科目が少なく、比較的講義が易しい 1, 2 年次にこそ、CAP 非対象科目を増やすべき。	CAP 対象科目が多すぎる。編入生としてはもう少し別の勉強とかしたい
1. CAP 制のため、取りたい授業がとれなかった。1 年前期は皆 CAP 制を外してスタートし、その成績で後期の CAP 制を判断すればいい。例：初修外国語を取ってしまうと、体育？がとれない。が発生。2. CAP 制をなくす。色々なぜ CAP 制ができたのか考えられますが、大学は自由な勉学が可能な所なので、制限されるのは・・・(汗)	1 回生の時にだけ CAP 制を設けることにしたらどうですかね。 CAP 制が上にあるような目的の下に設けられている制度なら、1 回生の時に 1 つの講義につきどれだけの時間をわりあてたらよいかを理解させればもうそれで目的は達成されるんじゃないでしょうか？ 2 回生からは再履などの関係で CAP がじゃまな人もでてくるだろうし。
もはや、砂の上の城でしかない CAP 制の存在する理由はあるのか？まともに勉強するなら良いが自分は CAP 制があってもなくても意味がない。大学は自分で勉強したいから行くのであって、みんなが行くからという志が低い学生がどうなろうと知ったことではない。無駄な制度はつくるな…	CAP をなくしてほしい。必修のために授業をへらして申請して一般教養の抽選に落ち申請できる授業がへってしまうということがあったので、CAP をなくすか、一般教養科目の申請方法を工夫して確実に申請した分の授業数を受講できるようにしてほしい。学校の制度のせいで単位が足りなくなり留年というのはしやれになりません。
実験など予習も時間がかかるのに CAP 対象外になっているのがわからない。 実験が対象外なら CAP 制はいらないと思う。	CAP 制はいらないと思う。 各々が自己管理していればめあすで「何科目が望ましい」で良いと思う
CAP のため断念した利用はたくさんある。 来年は取れない科目も断念	科目の取りすぎによる成績の低下は防がねばならないが、学生がとりたい科目をできるだけとれるように配慮してほしい。
1 回生の時は CAP 制ぎりぎりまで取っていたので、「CAP 制がなければ」と感じるがあったが、結果的に CAP 制で制限されたことにより、個々の科目の理解を深められたと思う。	結局のところ学生がどれだけ自習をしているのかなんてわからないので上を目指したい人が自由に授業をとれるようにしてあげた方がいいんじゃないかな、と個人的には思う。
最初の上限をもう少し上げてもらいたい。学習時間を結局は大学側が制限してしまっているのでは教育方針とずれがあると思う。	健康スポーツ科学実習 I・II を CAP 制に入れるはおかしい 予復習いらない。
24 単位を推奨して、28 単位を上限とした方が学びたい人の自由を奪わなくて済む。	24 単位では少ないと思うので、全員 30 単位ぐらいにすればいいと思います。
26 までは CAP 上限を増やしてもいい気がする	再履修科目は CAP 制対象外にして欲しかった。
CAP 上限をもう少し大きくしてほしい。もっと授業がとりたい。	1 回生のうちにもっとたくさん単位を取りたいので CAP 制をやめてほしい。
CAP 制があることによって、とりたい科目がとれなかったなので、なくして欲しいです。	抽選に落ちるかどうかで予定が大きく変わってしまう。3・4 年での負担が大きくなると思う。
CAP 制限にひっかかったことがないためこのままで問題ないと思います	対象科目が多すぎると思う。1 回前期でとれなさすぎる気がする。
例えば同じ「Academic English」でも先生ごとに評価が違うのに、それを全体の評価基準にするのは不公平だと思う。	他学科の講義も C や D 群等として認めるべき、また様々な講義を受講したいため CAP 制を撤廃すべき。
CAP 制で履修できる科目が少なく、暇すぎる	CAP 制自体に問題はない
CAP 制に反対。講義内容は千差万別であるから全ての科目に等しい予備学習等の時間を設けるとい理由で履修制限するのは妥当ではない	単位とれていない人が、単位とれている人よりも次とれる単位数が少ないってのはやめてほしい。希望がなくなる…。
CAP 制のためにとれる授業に制限がかかるのは嫌だが、逆にないと授業を行う側の負担が大きくなってしまうので、新しい制度があればと思う。	実際 CAP 制は個々の科目に対して必要な学習時間を割くという本来の目的を成していないから、



CAP 制の理念というものは理解できるが規制するのは大学の仕事ではないと思う。本来それは大学側は説明し、学生本人が選択すべき物だと思う。	必修と一般の差別化をしてほしい。勉強時間が多い必修と少ない一般教養を同じ成績で評価するのはおかしいと思う。
CAP 制はいらないと思う。科目を取りすぎて、勉強がおろそかになる様な人はそもそも必要最低限しかとらないでしょう。	半期に履修する科目数が多くても単位を取る人は取る。少なくとも落とす人は落とす。結局その人のやる気の問題だから、CAP 制は必要ない。
CAP 制は色々な科目をとりたいと考えている人にも適用すべき。とりたいと考えてない人が CAP 制でとれる科目数が増えても意味がない	必修科目が CAP 制の上限のほとんどを占めており自由な科目選択ができないので必修科目数に応じて少し上限を変えてもいいのではないかと思います。
CAP 制は学生の自主性を損なうのでナンセンスだと思う。	半期 25 単位の意味がわからない。一講義 2 単位の科目が多いのだから通年 50 単位にするべき
CAP 制は学生を守るためとうたっているものの、CAP 制のせいで取りたい科目を取れない学生がいる。CAP をこえて受講したい人は意欲の高い人と思われその人の学習意欲をそごような CAP 制はなくした方がいいと思う。	複数の資格を取ろうとすると一回の内から相当数の科目を取る必要があるが、特に一回前期は CAP 制の上限を外すことも出来ず、新たな制限解放が必要だと思う。
CAP 制は成績優秀者にはあまり必要ない。これをするぐらいなら他学年の授業もとりやすくするべき。	文化省への体面を気にして CAP 制をやっているならやめたほうがいい。 大学に入って管理されるようなやり方が気に入らない。
CAP 制を導入するならば、共通教育科目で○単位、専門キソで○単位…と科目分類ごとに行ってほしい（ついでに必要科目数もわかりやすく書いてほしい）でも基本的に CAP 制には反対です。（興味がある一般教養をとれないですし）	学びたい人の意欲に反する CAP 制の概念にはそもそも賛同できない。一部の GPA の低い人に対する措置、あるいは一般教養の緩和が目的なら、i) 成績が良い (GAP3 以上) 生徒は ii) 専門基礎、専門科目に限り、iii) 上限 30 単位以上取っても良いという改善を求む
CAP 制を行うのであれば、実習・実験時間割を、きっちりまもってほしい（実習時間長引くのはひどい 21 時終わりとかひどい）	1 回生では CAP がきついように感じる。もうすこしふやしてほしい。
CAP 制は撤廃してもらいたい。学生は多くの科目を学ぶべきであり、わざわざ多くの科目を受講申請し、単位を落とす人はいません。	今のままで構わないと思う。知る限り、少なくとも人社では CAP 制のために苦しんでいるという話は聞かない。

#### 資料4 成績開示に関する資料

・ 今年度後期の受講申請にかかって実際に起きた事例



・ 今年度前期における集中講義の日程

実施時期	科目数
8月中	23
9月1日～9月15日	15
9月16日～9月21日	1

要望書説明会に先立つ質問に対する大学の回答より

### Ⅲ. 施設・設備・構内整備に関すること

#### 資料5 図書館に関する資料

・様々な国公立大学の図書館の開館時間

大学		平日	休日・祝日
大阪府立大学 学術情報センター	授業期間	8:30-21:00	10:00-17:00 (祝日・年末年始は休館)
	休業期間	9:00-19:00	休館
りんくう図書室		9:00-17:30	土・平日と同様 日・祝日に利用の場合は前 日までに願い出ること。
大阪市立大学 学術情報センター		9:00-22:00	10:00-17:00
京都大学 総合図書館		8:00-22:00 (学外の方は9:00から)	10:00-19:00
大阪大学 総合図書館		8:00-22:00	10:00-19:00
神戸大学 附属図書館	授業期間	8:45-21:30	10:00-18:00 (日曜日は休館)
	休業期間	8:45-17:00	休館
一橋大学 附属図書館	授業期間	9:00-22:00	9:30-17:00
	休業期間	9:00-17:00	休館

各大学のホームページから作成

大阪市立大学・神戸大学・一橋大学の図書館の開館時間は本学よりもわずかに長い。京都大学、大阪大学の総合図書館の開館時間は本学の図書館よりも長く、特に休日における開館時間が長い。

## 資料6 障がい学生支援センターへの経路に関する資料

・B12棟、B13棟付近の写真(11月23日16時ごろ)

①B13棟-B12棟2階連絡通路(B13棟側)



②B13棟-B12棟2階連絡通路(B12棟側)



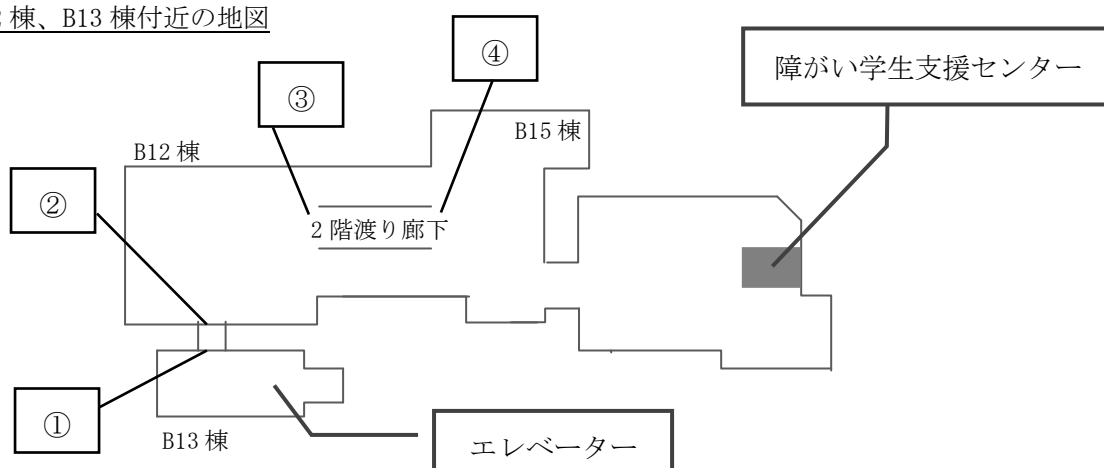
③B12棟2階第一会議室前扉



④B12棟2階大集会室前扉



・B12棟、B13棟付近の地図



#### IV. りんくうキャンパスに関すること

##### 資料7 りんくうキャンパスの駐輪場に関する資料

・駐輪場の写真(12月6日12時ごろ)



・りんくうキャンパスの地図

